

# 失われた新陳代謝

～資本主義も、民主主義も、言論の自由度も低下した社会～

金武貴（ムーギー・キム）

正会員 京都大学経営管理大学院博士課程

E-mail:info@moogwi.com

キーワード：最も安い国/ 労働人口の減少/ 世襲議員/

## 1. はじめに

30年間にわたる労働人口の減少及び経済失政を経て、日本は周辺諸国で「最も安い国」の一つになった。しかし驚いたことに、低調な経済パフォーマンスと経済政策の失敗にも関わらず、日本では政権交代がほぼ起きない。この現象は、選挙が極めて頻繁に行われる「民主主義」の国であるだけに、極めて不思議である。これらはしばしば指摘されるような、国民やメディアのリテラシーの低さにすべて起因する現象ではなく、実際は政治・経済的に「新陳代謝が起らない仕組み」が制度的・構造的に構築されている可能性がある。本稿は「失われた30年」研究会の諸講義・議論を参考にしつつ、著者の20余年に及ぶグローバル金融業界での観察を元に、日本の「新陳代謝が起さない構造」を論じるものである。

## 2. リサーチ手法

総理大臣・日銀総裁・防衛大臣・東大総長・国会議員・省庁次官・多国籍企業経営者・大手コンサルティングファームパートナー・経済学者・NGO・メディアなど多分野で主導的地位を経験してきた講演者との議論を通じ、日本の「失われた30年」を広範に議論。約2年間にわたり、42名の講演者へのインタビューを行ってきた。

適用理論及び理論的貢献制度理論（Institutionalに基づき Dis-institutionalization of old institutions を起こさせない Anti-Dis-institutionalization Policy（“旧制度温存政策”）の概念化

## 3. リサーチクエスション

- ① 日本はなぜ、30年という長期間に渡り相対的経済パフォーマンスが低かったのか
- ② ②日本ではなぜ、超長期間の経済停滞にも関わらず、政権交代がほぼ起こらなかったのか
- ③日本ではなぜ、「本質的な問題点」がメディアにより社会に浸透しないのか（報道の自由ランキングは世界70位/2024年）

## 4. 主要ファインディング

- ① 30年近く続く超低金利と、5倍以上に膨れ上がった日銀のバランスシート、GDPの260%に及ぶ国債残高と長期デフレ、過剰で不合理な規制の数々が意味する「失われた経済的新陳代謝」
- ② 国会のガバナンス機能欠如に加え、1994年「選挙制度改革」、2014年の「内閣人事局」、首相の解散権乱用、政治資金および世界最高水準の「世襲議員率の高さ」をめぐる「政治的新陳代謝」の欠如
- ③メディアの質を高める「独立シンクタンク機能」の欠如

## 5. インプリケーション及び今後のパブリック

### リレーションズの在り方について

シンクタンク機を持つことの重要性と、壮絶な批判を受けることになる「改革者」への理論的擁護提供